第一中学校　開かれた学校づくり協議会だより　　Vol.1（R5.10 月）

～第一中学校開かれた学校づくり協議会では、こんなことを協議しています～

「学校運営協議会機能を有する」開かれた学校づくり協議会（モデル校）となった第一中学校では、９月までに４回の協議会を終えたところであり、**「一中のために何かできないか」**という委員の皆さんの気持ちが込められた議論が交わされています。

地域、保護者、生徒の皆さんにも、「学校運営」を共に考えるパートナーである開かれた学校づくり協議会の様子を知っていただき、関心を寄せていただけたら幸いです。委員の皆さんは**オレンジ色のストラップの名札**を付けています。ぜひ校内で見かけたら声をかけてください。

（後列）中嶋校長　松村委員（成蹊大学）　長嶋委員（青少協）　冨岡委員（地域防災会）　落合委員（コミセン）　稲葉委員（学校生活支援員）　岡田副校長

（前列）平田委員（一小地域 CD）　三原副会長（PTA）　本郷会長（一中地域 CD）　南部委員（NPO ピープルズ・ホープ・ジャパン）　日名子委員（民生児童委員）　事務局：高橋さん

【学校運営協議会の3つの機能】

① 学校運営の基本方針を承認する。

・委員である校長は、自身の作成する学校運営の基本方針を委員に丁寧に説明し、「ともに子どもを育てる」思いの共有を図ります。モデル校では、議論や合意形成を経て、学校運営の基本方針を承認します。

② 学校運営に関する意見を述べる。

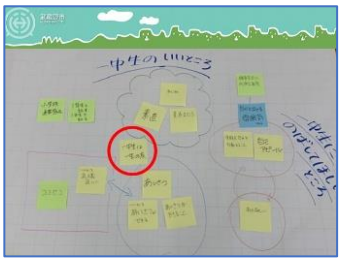
・学校は学校運営の状況、子どもたちの様子や教育活動について情報提供や説明をします。委員は、学校の基本方針を実現するために課題解決や改善に向けた建設的な議論をします。

③ 教員任用（学校に必要な人材像）に関する意見を述べる。

・委員は、職員構成、経験、得意分野や専門性など、その学校の特色にあった人材像に対して希望する意見を述べることができます。

第１回（５月９日）

第１回は、皆さんそれぞれの自己紹介やこれまでの活動、一中に対する思いをお話いただき、その後、中嶋校長から学校運営の基本方針の説明がありました。今年度の教育目標や、保護者や地域から信頼される学校づくりを大切にしたいとのお話もありました。続いて、熟議の練習として、**「一中生のいいところや身に付けてもらいたい力は何か／開かれた学校づくり協議会でなにができるか」**をテーマにグループ協議をしました。熟議では、必ず全員が発言し、メンバーの何気ない意見からも気づきがあったり、新しい発想に結びついたりします。**「一中の友は、一生の友」**というフレーズもありました。

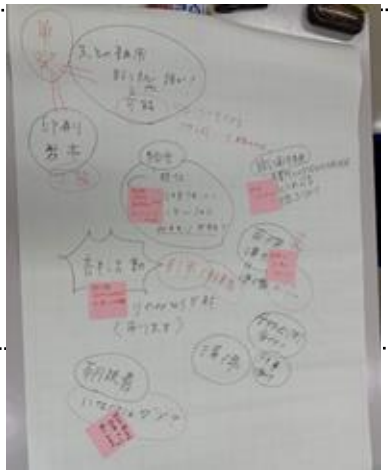


第２回（６月 13 日）

第２回では、**一中をもっと深く知る**ために、生徒や先生の一日の行動、教科や部活がどのように行われているか、学校生活の流れを具体的に先生方にお話していただきました。教務部、生活指導部、進路指導部の先生方にご参加いただき、グループ協議では委員さんからも様々な質問があり率直な意見をお話いただきました。

グループ協議の中では、やはり**先生方の忙しさ**や**部活動の在り方**について多くの意見が出ていました。そこから、委員皆さんの「開かれた学校づくり協議会で**できることが何かある**のではないか」という気概が醸成されました。

第３回（７月 19 日）



これまでの議論を踏まえて今後の協議会の方向性を決めたいという会長の発案がありました。一方で、**勝手な意見だけで進めてそれが先生のために本当になるのか**、という思いもあり、先生方にアンケートを取り、協議会に期待することや、先生の仕事の中で地域に任せられそうなことやお願いしたいことはあるかのニーズ調査を実施することになりました。

第４回（９月 12 日）

先生方のアンケート結果を見ながら、３つのグループで「すぐできそうなこと」「中長期的に実施したいこと」という視点で協議しました。中学校で大きな話題になる部活動などは、先生ごとに思いの違いもあり課題解決は容易ではありませんが、**部活動の際に生徒の見守り**を行うことや、今は先生方が行っている**英語検定・漢字検定の事務を地域に移行**することはできるのではないか、まずは、部活動や各検定の様子を見学しよう、活動に協力してくれそうな人を各委員で探してみよう、ということになりました。

今後も随時、第一中学校の開かれた学校づくり協議会の様子などをお知らせしていきたいと思います。

先生方をサポートするようなボランティアの仕組みを検討しておりますので、保護者や地域の皆様の中でぜひ参加してみたいという方は、今後のお知らせにご注目ください。